

小さな交通需要に対応した 交通サービスの検討

地域内交通の導入に向けた地域の主体的な取り組みについて

〈第16回滝沢市地域公共交通会議〉

令和6年3月8日（金）

岩手県滝沢市

検討の目的

地域公共交通網形成計画（平成29年策定）

公共交通の利便性向上プロジェクト

施策1-2 市内移動における利便性向上

②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討

小さな交通需要が分散する中山間地域において、誰でも安心して外出できる環境を確保するため、既存の交通資源を活用し、効率的な交通サービスの導入を検討する

- ・ **一本木、柳沢、姥屋敷及び小岩井地区の小規模な需要に対する効率的かつ効果的な公共交通サービスを検討します**
- ・ **令和4年度に柳沢・姥屋敷地区を対象とする実証実験を実施し、地域内交通の需要を検証するとともに、地域内交通の導入に向けた方向性を検討しました**

滝沢市地域公共交通網形成計画



平成29年9月

滝沢市

地域の交通サービスの検討について

- 地域の交通サービスの実現に向けて、既存の交通手段を活用するとともに、**「地域の主体的な取り組みに対する機運を高める」** ことに取り組みます

検討の流れ

～R3 既存の地域・交通の評価

R4 実証実験 移動ニーズの把握

R4 サービス水準・運行案の検討

地域意識の醸成・地域のとりくみ活性化

地域組織の設置

運行に向けた協議・調整

地域内交通の運行

地域での検討のイメージ

<いままで>

地域

住民

住民

住民

住民

個々の意見・要望

行政
事業者

地域の本当のニーズを
把握できない

画一的な公共交通の提供

<これから>

地域

住民

住民

住民

住民

地域でとりまとめた
意見・要望など

行政
事業者

地域の本当のニーズを
認識・共有

課題の共有・議論の展開
→地域内の連携・団結

地域に適した
公共交通の提供

タクシー事業者協議

- ・ 実証実験を実施したタクシー事業者3社と協議し、**想定される運行案や今後の小需要地域の方針**についてご意見をいただきました

確認事項1 需要のとりまとめのきっかけづくりのため、小需要地域内での定期的な待機は可能か

- ・ (3社共通) 予約がない状態でタクシーを**待機させることは難しい**、確実に利用していただくには**予約をお願いしたい**

確認事項2 地域による需要のとりまとめへの意見

- ・ (3社共通) 地域で需要をとりまとめて**代表者が予約するような利用**は、現状の**タクシー事業として対応可能**
- ・ (みたけタクシー) 利用者同士で連絡を取り合って相乗りが促進されれば、**事業者としても効率化が図られる**
- ・ (滝沢交通) 地域単位ではなく、**グループ単位で連絡**を取り合い買い物等の移動を一緒に行うことが効果的である
- ・ (岩手中央タクシー) 地域で需要がとりまとめられていれば**運行しやすい**、ただし**割り勘で不公平感が無いように配慮すべき**

その他 小需要地域への対応や今後の方針

- ・ (みたけタクシー) 小需要地域からの予約であっても、**車両の空きがあれば配車を行う** (配車時間でお客様からキャンセル)
- ・ (滝沢交通) 空車の場合は**配車までそこまで時間がかからない**、**ドライバーは固定客を抱えており予約で埋まっている**
- ・ (岩手中央タクシー) **小需要地域であっても配車を断ることはない**、配車時間がかかることが配車拒否と捉えられている地域に入り**新たな需要の掘り起こし**をしなければいけない、**利用者と事業者の意識の差も埋めていきたい**

想定される運行内容

- 地域の主体的な取り組みを推進した上で、需要のとりまとめによって利用者にも交通事業者にも**メリットがある交通手段**を目指します

地域の主体的な取り組みの推進

地域からタクシー事業者へ予約

相乗りや事前予約により
効率的な配車が可能
配車の遅延等を軽減

地区単位や普段からお出かけをする**グループ毎**に需要のとりまとめ（相乗りの相談）を行い、代表者が事前にタクシーの配車予約を行う**相乗りすることにより1人当たりの運賃を軽減**（割り勘により片道1,000円程度まで軽減）



【タクシー相乗りによる移動手段の確保の例】 横浜市旭区 タクシーを活用した実証実験

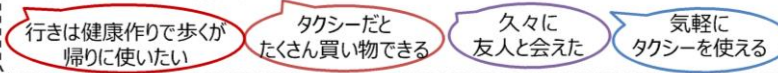
“相乗り”タクシーとは？



利用のシーンや効果



体験乗車会 利用者の声



- 駅から距離や高低差がある地区を対象として、**相乗りによるタクシー利用**によって地域の移動手段を確保する取り組み
- 地域とタクシー事業者との協議に行政が調整役として参加
- 運賃は乗車人数によって割安になるように設定、予約可能な時間を30分単位で設定

令和5年度の進め方

- ・ 令和5年度は、継続的に地域と協議を重ね、ワークショップや勉強会等を行い**地域の取り組みに繋がる技術的な支援**を実施します
 - ・ 想定される運行案のようなタクシーの**上手な使い方を共有するとともに**、割り勘時のルール等について、意見交換を実施します
 - ・ 交通モードが小さくなり、個人のニーズに近づくほど、**地域が主体的に関わる必要があること、地域の関係性づくりの必要性やその機運作り**をワークショップや勉強会を通して、継続的に話し合います
 - ・ 新しい交通手段を望む声についても、地域が主体的な行動をとることで実現可能なものを中心に、地域の取り組み状況を見ながら継続的に協議していきます
(地域が主体的に運行計画等の策定や運営に関わる必要があることを説明します)
 - ・ 他の小需要地域に展開できるように、柳沢・姥屋敷地区をモデルとした検討を進めます
- 以上のような、**地域の主体的な取り組みに繋がる技術的な支援等**を行います

令和5年度に実施した検討内容

第15回滝沢市地域公共交通会議における次年度（令和5年度）の進め方

- 他の小需要地域に展開できるように、**柳沢・姥屋敷地区をモデル**として検討を進めます
 - タクシーの**上手な利用方法等を共有**し、意見交換を実施します
 - 地域が**主体的に関わる必要があること**、**地域の関係性づくりの必要性やその機運づくり**をワークショップや勉強会を通して継続的に話し合います
 - 新しい交通手段を望む声についても、地域の取り組み状況を見ながら継続的に協議していきます
- ➡**地域の主体的な取り組みに繋がる技術的な支援等を行います**

これまでの方針を踏まえて、令和5年度においては、**地域の主体的な取り組みを推進するために**、地域とコミュニケーションを図ることとし、ワークショップ及び地域住民代表者との協議・調整を進めました

ワークショップによる地域内交通の意向確認

2回の住民ワークショップを開催し、実証実験結果や地域内交通のあり方を共有し、学識経験者やファシリテーターなどを交え、**地域内交通の仕組みをつくるための協力体制やサポート・協力者などの意向を確認しました**

柳沢地区の様子



姥屋敷地区の様子



実施目的	昨年度実施した実証実験結果や今後の地域内交通のあり方を共有し、地域内交通の実現に向けて必要な協力体制・サポートのあり方についてを議論し、仕組みづくりの下地をつくること
実施日時・会場	柳沢地区：令和5年9月16日（土）14:00～ 柳沢地区コミュニティセンター 姥屋敷地区：19:00～ 姥屋敷地区多目的研修センター
対象者	柳沢地区・姥屋敷地区住民
参加者	柳沢地区：20名（うち実証実験参加者：6名） 姥屋敷地区：11名（うち実証実験参加者：3名）
実施内容	<ul style="list-style-type: none">令和4年度の実証実験結果の報告、今後の地域内交通のあり方の共有ワークショップ形式のグループヒアリング
ワークショップにおける質問	<p><テーマ①></p> <ul style="list-style-type: none">「タクシーを上手に活用した地域内交通」に対して、地域住民が協力できることについて住民協働による事例や実証実験後の地域住民の意見について <p><テーマ②></p> <ul style="list-style-type: none">主体的な取り組みを牽引していける方や協力者、滝沢市からのサポートについて

ワークショップによる地域内交通の意向確認

住民ワークショップでは、現行バスに対する意見の他、運賃等負担への理解、また住民側の協力も必要といった意見も挙がりました。

ワークショップの設問		柳沢地区	姥屋敷地区
テーマ ①	地域住民ができること	<ul style="list-style-type: none"> 運賃負担や負担金の負担も必要 小さなグループでの相乗りは可能 運行に際する協力者探し、まとめ役 	<ul style="list-style-type: none"> 需要調査、声掛けと予約等の協力 早めの予定調整(個人の通院予約等)と住民間のスケジュール共有
	地域内交通に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 必要最低限の移動が不可(経路や時間の制約) 住民と事業者間の予約システム、簡単な支払方法があるとよい 家の近くまで迎えにこれる交通を望む 	<ul style="list-style-type: none"> 青山方面まで乗継不要な交通手段 冬期の移動手段の確保(無理して運転している) 柳沢と姥屋敷の経路一体化等、相互協力 患者輸送バスの活用
テーマ ②	キーパーソンとなる方	<ul style="list-style-type: none"> 指名推薦3名、ほか班長、広報 少人数単位であれば引き受け可能 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長(誰になっても引き継げる方がいない)
	滝沢市からのサポート	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会や情報共有の機会の増加 交通事業者との仲介(不公平感のない仕組み) 取りまとめ専用窓口の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換会や勉強会開催 相乗りが可能な地域内の拠点の形成(居住地が分散しており、現状では相乗りが非効率)
その他意見		<ul style="list-style-type: none"> サービス負担者の負担軽減が必要 相乗りできるような近所づきあいが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物以外の娯楽でも移動を希望 老人クラブでの送迎は、責任問題で解散

住民代表者ヒアリングによる意見収集

複数のキーパーソンが候補として挙がった柳沢地区において、住民代表者から地域内交通の実現に向けた課題や必要なサポートを共有しました

- ・開催概要：令和5年11月17日（金） 10:00～ 柳沢地区住民代表者5名
令和6年1月29日（月） 15:00～ 柳沢地区住民代表者3名（住民アンケート実施に関する調整）

質問項目	柳沢地区住民代表者の意見
①これまでの検討に対する意見	<ul style="list-style-type: none">・ 住民間の情報共有が希薄・ 情報周知の限界※実証実験時は全戸配布したが、知らないケースあり
②主体的な取り組みを進めるために必要なこと	<ul style="list-style-type: none">・ 住民の意識醸成※現況の理解、支え合いの視点・ 住民に対する当事者意識の醸成、地域のとりまとめ役の支援
③キーパーソンの負担軽減に必要なサポート	<ul style="list-style-type: none">・ まとめ役への謝金の支払や複数に関わるなど、継続できる形の検討・ SNSの活用やLINE登録の推進など、情報共有の手段の充実
④地域内交通のあり方	<ul style="list-style-type: none">・ 各主体の中心的存在をはじめ、今後の為の柔軟な考えと相互協力の前提が必要・ 年代や生活スタイルに合わせたタクシーとバスを主体とした交通手段を希望
⑤地域に必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 住民の状況と需要の調査、勉強会や意見交換の機会の設置

➡地域主体で意見や移動需要をとりまとめようとする動きがあるものの、公共交通の現状や地域の課題、利用者負担の捉え方には行政側と乖離がありました

地域内交通を考えるためのアンケート調査の実施

柳沢地域の現状や移動需要について、住民代表者と共通認識を持ち地域内交通のあり方を検討していくため、地域の移動実態や協力者を募るアンケート調査を地域と協力のもと実施します

実施目的	地域の移動需要を把握するとともに、議論に積極的に関わるキーパーソンの把握により、今後の地域内交通のあり方や実現に向けた検討を進めるための判断材料とすること
実施内容	アンケート調査・聞き取り調査併用
地域との役割分担	<滝沢市> <ul style="list-style-type: none">アンケート調査内容・項目の提案、回答フォームの作成回答状況の精査、調査結果の分析 <住民代表者> <ul style="list-style-type: none">アンケート調査項目の修正調査実施の呼びかけ、未回答者への聞き取り調査
調査の設問	<ul style="list-style-type: none">移動実態について (通勤・通学や日常移動における移動目的・移動手段、数年後の状況 など)地域内交通について (運転免許証の返納意向、地域内交通への関心や協力の意向 など)

柳沢地区の皆様へ
WEBアンケート調査ご協力をお願い
このチラシを受け取った全ての世帯が対象です

所要時間
約 5 分
回答期間
3/15 (金)
まで



将来の地域の交通手段のため
皆様の声をお聞かせください

※本調査への回答内容は、本調査の目的以外に使用することなく、個別に開示されるものではありません。

お問い合わせ：滝沢市 都市整備部 都市政策課 (担当：畑中、篠原)
☎019-656-6543

▲ 調査実施の周知チラシ

地域内交通を考えるためのアンケート調査の実施

アンケート調査は3月1日より開始しており、3月中旬までにWEB回答フォームによる収集、その後回答状況を精査し、6月より個別訪問による聴取を行います

<アンケート調査実施スケジュール>

令和6年3月1日アンケート調査実施の周知

3月15日WEBアンケートフォーム回答期限

3月末WEBアンケートフォーム項目集計

4~5月WEBアンケート回答世帯の精査

住民代表者との調整

6~7月個別訪問による聞き取り調査の実施

8月個別訪問結果の集計

9月アンケート調査結果の周知

地区	回答数
柳沢 1 ~ 4 班	8
山ノ神班	1
山籠更生 1 ~ 2 班	4
柳沢上郷 1 ~ 2 班	0
大川更生 1 ~ 2 班	0
一王子 1 ~ 5 班	5
中村班	1
分れ 1 ~ 2 班	0
大石渡 1 ~ 4 班	4
わからない	3
計	26

令和5年度の整理と令和6年度の進め方

令和6年度については、アンケート調査に引き続き聞き取り調査を実施し、調査結果を地域に展開・議論することで地域内の「交通部会」の設置を目指します

令和5年度の実施内容

・地域の主体的な取り組みへの 継続的なサポート

住民ワークショップの開催による住民意識の醸成
住民代表者ヒアリングによる必要なサポートの把握

・地域住民との課題意識の共有・調査

住民代表者ヒアリングによる課題意識の共有
地域を巻き込んだアンケート調査の実施

・地域内交通を支えていく事業者の撤退

実証実験に協力し、地域内交通の検討に前向きな
岩手中央タクシー（株）の事業停止（令和6年1月31日）

➡地域内交通についても**住民主体の取り組み**がさらに重要となります

令和6年度の検討方針

・聞き取り調査の継続実施

柳沢地域における聞き取り調査の実施

・アンケート調査結果のフィードバック

アンケート調査結果をもとに、地域の課題を共有する勉強会・ワークショップを開催

・自治会及び協力者との協議・調整

自治会及びキーマンとなる協力者との協議により
地域内の運営組織・運行方法等の検討

➡住民に寄り添い**地域内交通部会**の
立ち上げを目指します